

8/5/1 (Item 1 from file: 351)
DIALOG(R)File 351:Derwent WPI
(c) 2002 Thomson Derwent. All rts. reserv.

011858168 **Image available**
WPI Acc No: 1998-275078/ 199825
XRPX Acc No: N98-216049

Television receiver with several television broadcast signal reception function - includes memory block to which signal from multiple video signal processing circuit blocks, is supplied through tri-state output terminal

Patent Assignee: MATSUSHITA DENKI SANGYO KK (MATU)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 8088838	A	19960402	JP 94223369	A	19940919	199825 B

Priority Applications (No Type Date): JP 94223369 A 19940919

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan Pg	Main IPC	Filing Notes
JP 8088838	A	16	H04N-007/01	

Abstract (Basic): JP 8088838 A

The receiver includes multiple video signal processing circuit blocks (8-10) corresponding to multiple broadcast systems. A memory block (14) is provided, to the input terminal of which multiple video signal processing circuit blocks are interconnected through signal lines.

The video signal processing circuit block has a tri-state output terminal (11-13) for supplying signal to the memory block. The input signal from multiple video signal processing circuit block is alternatively supplied to the memory block by using the tri-state output terminal.

ADVANTAGE - Reduces power consumption. Receives signals from several broadcast systems. Enables observing several videos, simultaneously.

Dwg.1/11

Title Terms: TELEVISION; RECEIVE; TELEVISION; BROADCAST; SIGNAL; RECEPTION; FUNCTION; MEMORY; BLOCK; SIGNAL; MULTIPLE; VIDEO; SIGNAL; PROCESS; CIRCUIT; BLOCK; SUPPLY; THROUGH; TRI; STATE; OUTPUT; TERMINAL

Derwent Class: W03

International Patent Class (Main): H04N-007/01

International Patent Class (Additional): H04N-007/24

File Segment: EPI

8/5/2 (Item 1 from file: 347)
DIALOG(R)File 347:JAPIO
(c) 2002 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

05133338 **Image available**
TELEVISION RECEIVER

PUB. NO.: 08-088838 [JP 8088838 A]

PUBLISHED: April 02, 1996 (19960402)

INVENTOR(s): TOKOI MASAKI
SAGAWA KENTA
HAMADA MASANORI
ISHIZU ATSUSHI

APPLICANT(s): MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD [000582] (A Japanese Company or Corporation), JP (Japan)

APPL. NO.: 06-223369 [JP 94223369]

FILED: September 19, 1994 (19940919)

INTL CLASS: [6] H04N-007/01; H04N-007/24

JAPIO CLASS: 44.6 (COMMUNICATION -- Television)

BEST AVAILABLE COPY

ABSTRACT

PURPOSE: To flexibly cope with the combination of memory sharing by providing a tristate function in the respective output terminals of plural signal processing circuits and alternatively selecting signals to be inputted to a memory.

CONSTITUTION: In the case of processing the television signals of a first broadcasting system, selection signals S1 added to an input terminal 4 attain a state where only the signal line of the output terminal 11 is equivalently connected to a memory block 14 by turning only the output terminal 11 to a passing state and turning the output terminal 12 and 13 to a high impedance state. The television signals of the first broadcast system added to the input terminal 1 are converted into digital signals in an A/D converter 5, the converted digital television signals are decoded in a first signal processing circuit block 8 and converted into analog signals again by a D/A converter 15 and first video signals are obtained from the output terminal 18. In this case, by switching input signals to the memory block, a picture memory can be shared.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-88838

(43) 公開日 平成8年(1996)4月2日

(51) Int.Cl.⁹

H04N 7/01
7/24

識別記号

J

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

H04N 7/13

Z

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全16頁)

(21) 出願番号

特願平6-223369

(22) 出願日

平成6年(1994)9月19日

(71) 出願人 00005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 床井 雅樹

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72) 発明者 寒川 賢太

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72) 発明者 浜田 雅則

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(74) 代理人 弁理士 小銀治 明 (外2名)

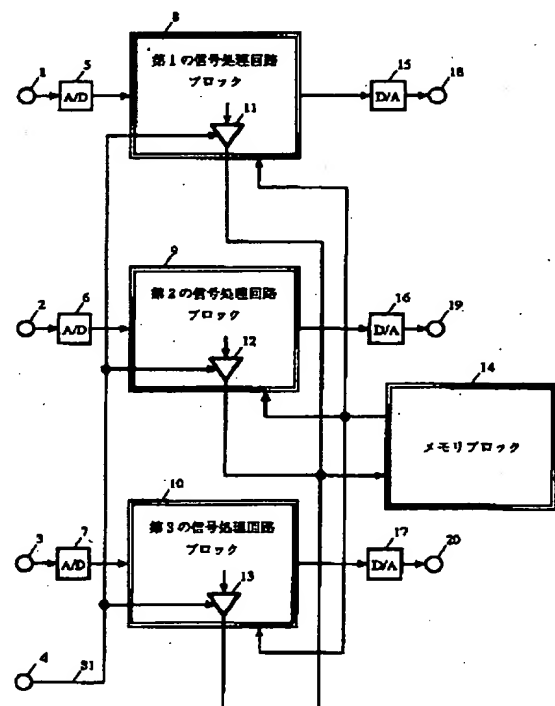
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 テレビジョン受像機

(57) 【要約】

【目的】 本発明は複数の放送方式のテレビジョン信号を受信可能なテレビジョン受像機に関するもので、各放送方式に対応した信号処理回路の間で画像メモリを共有化することによって、それぞれの信号処理回路で専用メモリをもつ場合に比べ、大幅なコストダウンを実現できるテレビジョン受像機を提供することを目的とする。

【構成】 受信可能なそれぞれの放送方式に対応した複数の信号処理回路ブロックと、少なくとも1つのメモリブロックを備え、メモリブロックの入力には各信号処理回路ブロックからの信号線を共通に接続し、各信号処理回路ブロックにおけるメモリブロックへの出力をトライステート機能を用いて切り換えることによってメモリブロックへの入力信号を択一的に選択する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】複数の映像信号処理回路ブロックと、少なくとも一つのメモリブロックを備え、前記メモリブロックの入力端子には前記複数の映像信号処理回路ブロックからの信号線を共通に接続し、前記複数の映像信号処理回路ブロックは、前記メモリブロックへ信号を供給する出力端子にトライステート機能を有し、選択信号にしたがって選択した出力端子を除きすべてを高インピーダンス状態にすることによって前記メモリブロックへの入力信号を択一的に選択することを特徴とするテレビジョン受像機。

【請求項 2】前記複数の映像信号処理回路ブロックと前記少なくとも一つのメモリブロックは、複数の放送方式に対応した信号処理を行うことを特徴とする請求項 1 記載のテレビジョン受像機。

【請求項 3】前記複数の映像信号処理回路ブロックは、各々が到来入力信号の同一フィールド内の信号のみを用いて処理を行う空間信号処理回路と、複数フィールド分の信号を用いて処理を行う時空間信号処理回路とを備え、前記選択信号にしたがって前記時空間信号処理回路に複数フィールド分の信号が得られない場合には前記時空間信号処理回路からの出力を用いない信号処理形態をなすことを特徴とする請求項 1 記載のテレビジョン受像機。

【請求項 4】前記複数の信号処理回路ブロックは、各々が前記選択信号にしたがってブロックの全体または一部の駆動クロックを停止できることを特徴とする請求項 1 記載のテレビジョン受像機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は複数の放送方式のテレビジョン信号を受信可能なテレビジョン受像機に関するものである。

【0002】

【従来の技術】近年のテレビジョン技術では大容量の画像メモリを用いたテレビジョン信号の圧縮・復元などのデジタル信号処理技術が一般的となっている。しかしテレビジョン放送方式は地域や周波数帯によって様々であり、それぞれの信号処理方式によって画像メモリの用いられ方は異なっている。複数の放送方式に対応したテレビジョン受像機では一般にそれぞれの放送方式に対応した信号処理回路ごとに画像メモリを持たねばならず、画像メモリ量の増大が製品コストの大幅なアップにつながっている。そこで複数の放送方式を受信可能なテレビジョン受像機において、それぞれの放送方式に対応した信号処理回路の間で画像メモリを共有することが考えられている。

【0003】従来のテレビジョン受像機としては、例えば特開昭 62-206977 号公報に示されている。

【0004】図 11 はこの従来のテレビジョン受像機の

ブロック図を示すものであり、この従来例では高品位テレビジョン信号の帯域圧縮方式である MUSE 方式（二宮、他「高品位テレビの衛星 1 チャンネル伝送方式（MUSE）」テレビジョン学会技術報告 TEBS95-237~42 ページ）と現行標準テレビ信号の放送方式である NTSC 方式の 2 方式のテレビジョン信号が受信可能なテレビジョン受像機について述べられている。

【0005】図 11 において 101 はベースバンドの MUSE 信号の入力端子、102 はベースバンドの NTSC 信号の入力端子、103 は MUSE/NTSC 切り換え選択信号 M/N の入力端子、104、105 はそれぞれ MUSE、NTSC 信号をディジタル信号に変換する A/D 変換器、106 は選択信号 M/N にしたがって MUSE/NTSC 信号を選択出力するセクタ回路、107、108 は画像メモリ、109 は入力信号と画像メモリ 107、108 で 1 フレーム期間遅延された信号とを画素ごとに交互に配列して出力し、フレーム間挿入処理を行うセクタ回路、110 は MUSE 用のタイミング信号を発生するタイミング発生回路、111 は NTSC 用のタイミング信号を発生するタイミング発生回路、112 は選択信号 M/N にしたがって MUSE 用/NTSC 用タイミング発生回路からのタイミング信号を選択出力するセクタ回路、113 はセクタ回路 112 からのタイミング信号にしたがって画像メモリ 107、108 の動作を制御するためのアドレスを発生するアドレス発生器、114 はセクタ回路 109 でフレーム間挿入処理によって多重化された現フィールドの信号と 1 フレーム期間遅延された信号を分離する分離回路、115 は MUSE の復号処理を行う MUSE 信号処理回路、116 は NTSC の復号処理を行う NTSC 信号処理回路、117~122 は D/A 変換器、123 は高品位テレビの表示用モニタ、124 は現行標準テレビの表示用モニタである。

【0006】以上のように構成された従来のテレビジョン受像機の動作を図面を参照しながら説明する。図において端子 101 には MUSE 信号が入力され、A/D 変換器 104 によってディジタルデータとなった信号がセクタ 106 に入力される。同時に端子 102 には NTSC 信号が入力され、A/D 変換器 105 によってディジタルデータとなった信号がセクタ回路 106 に入力される。また、端子 103 には MUSE 信号と NTSC 信号を切り換える信号 M/N が入力され、セクタ回路 106 では信号 M/N によって MUSE 信号と NTSC 信号を切り換えて出力する。

【0007】セクタ回路 106 で MUSE 信号が選択された場合には、セクタ回路 112 では信号 M/N にしたがって MUSE 用タイミング発生回路 110 から出力されるタイミング信号を選択する。アドレス発生回路 113 ではセクタ回路 112 からのタイミング信号にしたがって MUSE 信号に適したアドレス信号を発生

し、画像メモリ107、108を制御する。したがってこの場合の画像メモリ107、108の動作はMUSE信号の1フレーム期間の遅延器として働き、セレクト回路109では入力MUSE信号と1フレーム遅延MUSE信号をサンプルレートの倍レートで切り換えて出力することによってフレーム間内挿処理を行う。MUSE信号処理回路115ではフレーム間内挿処理がなされた信号に対して、それに続くMUSE信号の各復号処理を行い、復号後のRGB映像信号の各デジタルデータを出力する。各デジタルデータはそれぞれD/A変換器117、118、119によってアナログ信号に変換されてモニタ123に入力される。

【0008】一方、セレクト回路106でNTSC信号が選択された場合には、セレクト112ではM/N信号にしたがってNTSC用タイミング発生回路111から出力されるタイミング信号を選択する。アドレス発生器113ではセレクト回路112からのタイミング信号にしたがってNTSC信号に適したアドレス信号を発生し、画像メモリ107、108を制御する。

【0009】したがってこの場合の画像メモリ107、108の動作はNTSC信号の1フレーム期間の遅延器として働き、セレクト回路109では入力NTSC信号と1フレーム遅延NTSC信号をサンプルレートの倍レートで切り換えて出力することによって、MUSEのフレーム間内挿処理と同様に現フィールドのNTSC信号と1フレーム期間遅延したNTSC信号を画素ごとに多重化する。分離回路114ではセレクト回路106で多重化されたNTSC信号を再び現フィールドと1フレーム期間遅延した信号に分離する。NTSC信号処理回路116では分離回路114からの現フィールドの信号と1フレーム期間遅延した信号を用いてその後のNTSC信号の各復号処理を行い、復号後のRGB映像信号の各デジタルデータを出力する。各デジタルデータはそれぞれD/A変換器120、121、122によってアナログ信号に変換されてモニタ124に入力される。

【0010】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら前記のような構成は、2方式の間の限られた処理間でのメモリ共用であり、3方式以上の多数の信号処理回路ブロック間の共用や、信号処理回路ブロック内の個々の時空間処理回路単位でのメモリ共用に対応するには多数かつ多段のセレクト回路を必要とするなどの課題を有していた。また前記のような構成では選択した放送方式以外の信号処理回路は正常に動作しないために、常にどちらか一方の放送方式の映像しか楽しめないという課題を有していた。さらに前記のような構成では有効に動作している信号処理回路ブロックは1つであるのに、2つの信号処理回路ブロック分の電力を消費してしまうという課題を有していた。

【0011】第1の発明はかかる点に鑑み、複数の放送

方式に対応し、それぞれの放送方式に対応した信号処理回路の間でメモリの一部または全部を共有して低コスト化を図るテレビジョン受像機を提供することを目的とする。

【0012】第2の本発明はかかる点に鑑み、共有メモリを優先的に用いて復号処理が行われている放送方式以外の映像も同時に楽しめるテレビジョン受像機を提供することを目的とする。

【0013】第3の発明はかかる点に鑑み、不要な電力消費を抑制する複数方式対応のテレビジョン受像機を提供することを目的とする。

【0014】

【課題を解決するための手段】第1の発明は、複数の信号処理回路ブロックと、少なくとも一つのメモリブロックを備え、前記メモリブロックの入力端子には、前記複数の信号処理回路ブロックからの信号線を共通に接続し、前記複数の信号処理回路ブロックは、前記メモリブロックへ信号を供給する出力端子にトライステート機能を有し、前記選択信号にしたがって選択した出力端子を除きすべてを高インピーダンス状態にすることによって前記メモリブロックへの入力信号を一時的に選択することを特徴とするテレビジョン受像機である。

【0015】第2の発明は、前記複数の信号処理回路ブロックの各々が、到来入力信号の同一フィールド内の信号のみを用いて処理を行う空間信号処理回路と、複数フィールド分の信号を用いて処理を行う時空間信号処理回路とを備え、前記選択信号にしたがって前記時空間信号処理回路に複数フィールド分の信号が得られない場合には前記時空間信号処理回路からの出力を用いない信号処理形態をなすことを特徴とするテレビジョン受像機である。

【0016】第3の発明は、前記複数の信号処理回路ブロックの各々が、前記選択信号にしたがってブロックの全体または一部の駆動クロックを停止できることを特徴とするテレビジョン受像機である。

【0017】

【作用】第1の発明は前記した構成により、メモリの入力に共通に接続されている複数の信号処理回路の出力端子にトライステート機能をもたせ、選択信号によって選択したもの以外を高インピーダンス状態にしてメモリへ入力する信号を一時的に選択するようにし、選択信号を切り換えることで各信号処理回路でメモリを共用化することができる。

【0018】第2の発明は前記した構成により、第1の発明の作用に加えて、各信号処理回路は選択信号にしたがってメモリが利用できない状態の場合は、メモリを必要としない空間処理で入力信号の復号処理を行うように切り換わり、メモリ共用化状態においても同時に複数の映像信号処理を行うことができる。

【0019】第3の発明は前記した構成により、第2の

5

発明の作用に加えて、各信号処理回路は選択信号によって選択されない場合は駆動クロックを停止して不要な電力消費を抑制することができる。

【0020】

【実施例】図1は第1の発明の実施例におけるテレビジョン受像機のブロック図を示すものである。図1において、1は第1の放送方式のテレビジョン信号を入力する入力端子、2は第2の放送方式のテレビジョン信号を入力する入力端子、3は第3の放送方式のテレビジョン信号を入力する入力端子、4は選択信号S1の入力端子、5~7はA/D変換器、8は第1の放送方式に対応した信号処理を行う第1の信号処理回路ブロック、9は第2の放送方式に対応した信号処理を行う第2の信号処理回路ブロック、10は第3の放送方式に対応した信号処理を行う第3の信号処理回路ブロック、14は映像信号処理のなかの時空間処理や時間軸変換処理に必要な画像メモリを複数有したメモリブロック、11, 12, 13はそれぞれ第1, 第2, 第3の信号処理回路ブロックからメモリブロック14へ供給する信号の出力を制御信号S1に応じて通過させるか高インピーダンス状態にするかを切り換えるトライステート出力端子。15~17はD/A変換器、18は第1の放送方式のテレビジョン信号の復号信号を出力する出力端子、19は第2の放送方式のテレビジョン信号の復号信号を出力する出力端子、20は第3の放送方式のテレビジョン信号の復号信号を出力する出力端子である。

【0021】以上のように構成されたこの実施例のテレビジョン受像機において、以下その動作を説明する。動作の説明は復号すべきテレビジョン信号が第1の放送方式の場合、第2の放送方式の場合、第3の放送方式の場合に分けて行う。

【0022】まず第1の放送方式のテレビジョン信号を処理する場合、入力端子4に加えられた選択信号S1は出力端子11のみを通過状態にし、出力端子12, 13を高インピーダンス状態にすることにより等価的に出力端子11の信号線のみをメモリブロック14に接続した状態にする。入力端子1に加えられた第1の放送方式のテレビジョン信号は、A/D変換器5においてデジタル信号に変換され、変換されたデジタルテレビジョン信号は第1の信号処理回路ブロック8において復号され、D/A変換器15によって再びアナログ信号に変換され、出力端子18より第1の映像信号を得る。

【0023】第2の放送方式のテレビジョン信号を処理する場合、入力端子4に加えられた選択信号S1は出力端子12のみを通過状態にし、出力端子11, 13を高インピーダンス状態にすることにより等価的に出力端子12の信号線のみをメモリブロック14に接続した状態にする。入力端子2に加えられた第2の放送方式のテレビジョン信号は、A/D変換器6においてデジタル信号に変換され、変換されたデジタルテレビジョン信号

6

は第2の信号処理回路ブロック9において復号され、D/A変換器16によって再びアナログ信号に変換され、出力端子19より第2の映像信号を得る。

【0024】第3の放送方式のテレビジョン信号を処理する場合、入力端子4に加えられた選択信号S1は出力端子13のみを通過状態にし、出力端子11, 12を高インピーダンス状態にすることにより等価的に出力端子13の信号線のみをメモリブロック14に接続した状態にする。入力端子3に加えられた第3の放送方式のテレビジョン信号は、A/D変換器7においてデジタル信号に変換され、変換されたデジタルテレビジョン信号は第3の信号処理回路ブロック10において復号され、D/A変換器17によって再びアナログ信号に変換され、出力端子20より第3の映像信号を得る。

【0025】以上のようにこの実施例によれば、複数の放送方式に対応したそれぞれの信号処理回路ブロックで画像メモリを共用化するに際して、各信号処理回路ブロックからメモリブロックへ信号を供給する出力端子にトライステート機能を設け、各出力端子のトライステート状態を制御することでメモリブロックへの入力信号を切り換えることにより、従来セレクトなどの選択手段によって画像メモリへの入力信号を切り換えていたものに比べ、新たなセレクトの増設なしに3つの信号処理回路ブロックからの画像メモリの共用が可能となる。

【0026】なおこの実施例ではメモリブロックへ信号を供給する出力端子にトライステート機能を設けるとしたが、制御信号にしたがって出力端子を高インピーダンス状態にする機能であればどのようなものでも良いことは言うまでもない。またこの実施例ではメモリブロックへの3つの信号処理回路ブロックでメモリブロックを共有する例を示したが、信号処理回路ブロックの数は2つ以上のいかなる数でもよく、数が多くなるほどこの実施例に示した発明がさらに有効になることは言うまでもない。さらにこの実施例ではメモリブロックへの入出力信号を各信号処理回路ブロックで一つずつである例を示したが、入出力信号の数は1つ以上のいかなる数でもよく、その場合もまたこの実施例に示した発明がさらに有効になることも言うまでもない。

【0027】図2は第2の発明の実施例におけるテレビジョン受像機のブロック図を示すものである。図2において、21はMUSE信号の入力端子、22はNTSC信号の入力端子、23は選択信号M/Nの入力端子、24, 25はA/D変換器、26はMUSE信号を復号するMUSE信号処理ブロック、27はNTSC信号を復号するNTSC信号処理回路ブロック、14はメモリブロック、29, 30はそれぞれ16.2MHzのサンプルレートのMUSE信号または14.3MHzのサンプルレートのNTSC信号を1フレーム期間記憶できる容量(約4Mビット)をもつ画像メモリ、31, 32はそれぞれ同信号を1フィールド期間記憶できる容量(約2

Mビット)をもつ画像メモリ、33はMUSE信号処理ブロック26の出力映像信号とNTSC信号処理のブロック27の出力映像信号を一つの画面に合成する画面合成回路、34、35はD/A変換器、36はMUSE信号の復号信号の録画用出力端子、37はモニタである。

【0028】図3はMUSE信号処理ブロック26の構成例を示すブロック図である。図3において、41は動画処理回路、42は静止画処理回路、43は動き検出回路、44は混合回路、45はセクタ、46はMUSE信号の復号回路、47はMUSE信号を録画用信号に変換する走査線数変換回路、48は時空間フィルタ、49はセクタ、50は走査線数変換回路47でMUSE信号から変換された録画用信号の復号回路、51~54はトライステート機能をもつ出力端子である。図3においては静止画処理回路42と時空間フィルタ48などが時空間処理回路であり、動画処理回路41が空間処理回路である。また図3におけるA~Lは図2におけるA~Lと同一である点であることを示している。

【0029】図4はNTSC信号処理ブロック27の構成例を示すブロック図である。図4において、61は静止画用Y/C分離回路、62は動画用Y/C分離回路、63は動き検出回路、64、70は混合回路、65、71はセクタ、66は減算器、67は静止画用走査線補間回路、68は動画用走査線補間回路、69は色信号用走査線補間回路、72は順次走査のNTSC信号の復号回路、73、74はトライステート機能を持つ出力端子である。図4においては静止画用Y/C分離回路61と静止画用走査線補間回路67などが時空間処理回路、動画用Y/C分離回路62と動画用走査線補間回路68などが空間処理回路である。また図4におけるM~Tは図2におけるM~Tと同一である点であることを示している。

【0030】以上のように構成されたこの実施例のテレビジョン受像機において、以下その動作を説明する。

【0031】入力端子21に加えられたMUSE信号はA/D変換器24においてデジタル信号に変換されMUSE信号処理ブロック26に入力される。入力端子22に加えられたNTSC信号はA/D変換器25においてデジタル信号に変換されNTSC信号処理ブロック27に入力される。

【0032】以下の動作の説明は主に復号すべき信号がMUSE信号の場合とNTSC信号の場合とに分けて行う。

【0033】まずMUSE信号を主に復号する場合、入力端子23に加えられる選択信号M/NはMUSEを選択する値となりMUSE信号処理ブロック26とNTSC信号処理ブロック27とに入力される。MUSE信号処理ブロック26では選択信号M/NがMUSEを選択している場合トライステート出力端子51の出力端Cが画像メモリ29の入力、52の出力端Fが画像メモリ31の入力、53の出力端Hが画像メモリ32の入力

にそれぞれ接続されていることになる。一方トライステート出力端子54は高インピーダンス状態であり、出力端Iは画像メモリ32と絶縁されている。フレーム間内挿回路421では入力MUSE信号と、入力信号を出力端Cより出力して画像メモリ29を経て入力端Dより得た1フレーム期間遅延信号とで内挿処理がなされフィールド間内挿回路422に供給する。

【0034】フィールド間内挿回路422ではフレーム間内挿処理された信号と、同信号を出力端F-画像メモリ31-入力端G-出力端H-画像メモリ32-入力端Jという経路を経て得られた1フィールド期間遅延信号とで内挿処理がなされてMUSE信号の静止画領域の映像が復元される。フィールド内挿回路411では現信号のみを用いて内挿処理を行い、MUSE信号の動画領域の映像が復元される。動き検出回路43には現信号と入力端Dより得られる1フレーム遅延信号および画像メモリ30を経て入力端Eより得られる2フレーム遅延信号が入力され、それらの信号をもとに1フレーム間および2フレーム間の動き量を検出する。混合回路44では動画処理回路41と静止画処理回路42からの入力を動き検出回路43からの動き量に応じた比率で混合して出力する。

【0035】セクタ45では選択信号M/NがMUSEを選択している場合、動き適応処理出力であるS3を選択しこれを出力する。復号回路46では以降のMUSEの各復号処理を行いRGBのデジタルデータとしてMUSE信号の復号出力を得る。走査線数変換回路47では現行NTSC-VCRに記録できる映像信号を得るために、MUSE信号の走査線数変換が行われる。セクタ49は選択信号M/NがMUSEを選択している場合には走査線数変換回路47の出力であるS4を選択し、これを出力する。このとき時空間フィルタ回路48は信号処理系の流れに影響を及ぼさない。復号回路50ではセクタ49の出力に対し以降の各復号処理を行いYCのデジタルデータとして録画用の出力を得る。

【0036】このように選択信号M/NがMUSEを選択する場合には、MUSE信号処理ブロック26は本来のMUSEの信号処理である動き適応時空間処理を行い、録画用の出力を得る処理では逆に時空間処理を行わないように動作する。

【0037】NTSC信号処理ブロック27では、選択信号M/NがMUSEを選択している場合、トライステート出力端子73、74はともに高インピーダンス状態であり、画像メモリから絶縁された状態になる。ライン間YC分離回路621では入力されたNTSC信号の現信号だけを用いてYC分離を行う。セクタ65は選択信号M/NがMUSEを選択している場合ライン間YC分離回路621の出力S7を選択しこれを出力する。このときフレーム間YC分離回路611、動き検出回路63、混合回路64は信号処理系の流れに影響を及ぼさな

い。ライン間YC分離回路621で分離された色信号はセクタ65を介して減算器66と色信号補間回路69に供給される。

【0038】減算器66では入力NTSC信号より色信号を減算することで輝度信号を得る。ライン間補間回路681では入力された輝度信号の現信号だけを用いて走査線補間を行う。セクタ71は選択信号M/NがMUSEを選択している場合ライン間補間回路681の出力S9を選択しこれを出力する。このときフレーム間補間回路671、動き検出回路63、混合回路70は信号処理系の流れに影響を及ぼさない。セクタ71からの輝度信号と、色信号補間回路69で走査線補間が行われた色信号は復号回路72に供給され、その後の復号処理が行われRGBのデジタルデータとして順次走査のNTSC信号の復号出力を得る。

【0039】このように選択信号M/NがMUSEを選択する場合には、NTSC信号処理ブロック27は時空間処理を行わず、空間処理のみで全ての信号処理を行うよう動作する。

【0040】次にNTSC信号を主に復号する場合、入力端子23に加えられる選択信号M/NはNTSCを選択する値となりMUSE信号処理ブロック26とNTSC信号処理ブロック27とに入力される。MUSE信号処理ブロック26では選択信号M/NがNTSCを選択している場合、トライステート出力端子51、52、53はすべて高インピーダンス状態であり、画像メモリから絶縁された状態になる。一方トライステート出力端子54の出力端Iは画像メモリ32の入力に接続されていることになる。フィールド内内挿回路411では入力MUSE信号の現信号のみを用いて内挿処理を行い映像が復元される。

【0041】セクタ45は選択信号M/NがNTSCを選択している場合フィールド内内挿回路411の出力S2を選択しこれを出力する。このときフレーム間内挿回路421、フィールド間内挿回路422、動き検出回路43、混合回路44は信号処理系の流れに影響を及ぼさない。フィールド内内挿回路で内挿処理されたMUSE信号はセクタ45を介して復号回路46に供給される。復号回路46では以降のMUSEの各復号処理を行いRGBのデジタルデータとしてMUSE信号の復号出力を得る。走査線数変換回路47では現行NTSC-VCRに記録できる映像信号を得るために、MUSE信号の走査線数変換が行われる。

【0042】走査線数変換回路の入力信号はMUSE信号を動画処理のみで復元した信号であるから、本来静止画処理をすべき領域に折り返し歪みと呼ばれる時空間方向のノイズ成分を含んでいる。時空間フィルタ回路48では走査線数変換回路の出力信号に残存する折り返し歪みを低減するよう働く。セクタ49は選択信号M/NがNTSCを選択している場合には時空間フィルタ回路

48の出力信号S5を選択し、復号回路50に供給する。復号回路50では以降の各復号処理を行いYCのデジタルデータとして録画用の出力を得る。

【0043】このように選択信号M/NがNTSCを選択する場合には、MUSE信号処理ブロック26は空間処理であるフィールド内内挿処理のみでMUSE信号の復元を行い、録画用の出力を得る処理では逆にMUSE信号に発生する折り返し歪みを低減するための時空間フィルタ処理を行うように動作する。

10 【0044】NTSC信号処理ブロック27では、選択信号M/NがNTSCを選択している場合、トライステート出力端子73の出力端Oが画像メモリ29の入力に、74の出力端Rが画像メモリ31の入力にそれぞれ接続されていることになる。フレーム間YC分離回路611では入力NTSC信号と、入力信号を出力端Oより出力して画像メモリ29を経て入力端Pより得た1フレーム期間遅延信号とでYC分離処理がなされる。ライン間YC分離回路621では現信号のみを用いてYC分離処理がなされる。

20 【0045】動き検出回路63には現信号と入力端Pより得られる1フレーム遅延信号および画像メモリ30を経て入力端Qより得られる2フレーム遅延信号が入力され、それらの信号をもとに1フレーム間および2フレーム間の動き量を検出する。混合回路64ではフレーム間YC分離回路611とライン間YC分離回路621からの入力を動き検出回路63からの動き量に応じた比率で混合して出力する。セクタ65では選択信号M/NがNTSCを選択している場合NTSC信号処理の通常の動き適応3次元YC分離出力であるS6を選択しこれを出力する。動き適応3次元YC分離処理で分離された色信号はセクタ65を介して減算器66と色信号補間回路69に供給される。

30 【0046】減算器66では入力NTSC信号より色信号を減算することで輝度信号を得る。フィールド間補間回路671では入力された輝度信号と、同信号を出力端Rより出力して画像メモリ31を経て入力端Sより得た1フィールド期間遅延信号とで走査線補間処理がなされる。ライン間補間回路681では入力された輝度信号の現信号だけを用いて走査線補間を行う。混合回路70ではフィールド間補間回路671とライン間補間回路681からの入力を動き検出回路63からの動き量に応じた比率で混合して出力する。セクタ71は選択信号M/NがNTSCを選択している場合にはNTSC信号処理の通常の動き適応走査線補間出力であるS8を選択し、これを出力する。セクタ71からの輝度信号と、色信号補間回路69で走査線補間が行われた色信号は復号回路72に供給され、その後の復号処理が行われRGBのデジタルデータとして順次走査のNTSC信号の復号出力を得る。

40 50 【0047】このように選択信号M/NがNTSCを選

択する場合には、NTSC信号処理ブロック27は本来の動き適応時空間信号処理を行うよう動作する。

【0048】MUSE信号処理ブロック26において復号された映像信号とNTSC信号処理ブロックにおいて復号された映像信号はともに画面合成回路33に入力される。画面合成回路33では例えば図5、図6に示すように、二つの映像信号を合成して一つの映像信号出力を得る。この場合選択信号M/Nによって選択されている方の映像信号が主画面である方が好ましいことは言うまでもない。画面合成回路33の出力映像信号は、D/A変換器35によってアナログ映像信号に変換され、モニタへと供給される。一方MUSE信号処理ブロック26の録画用出力はD/A変換器34によってアナログ映像信号に変換され録画用出力端子36に供給される。

【0049】以上のようにこの実施例によれば、時空間信号処理回路が選択信号にしたがって画像メモリの利用を制限される場合には、信号処理の経路をメモリを必要としない空間処理回路を通過する経路に切り換えることにより、画像メモリを主に利用する信号処理回路ブロックと画像メモリの利用が制限される信号処理回路ブロックの両方の映像を楽しむことができる。

【0050】なおこの実施例では時空間信号処理回路が選択信号にしたがって画像メモリの利用を制限される場合には、セクタ45、65、70を用いて信号処理の経路を強制的に空間処理のみを通過する経路に切り換えていたが、混合回路44、64、70において空間信号処理の出力と時空間信号処理の出力の混合比を強制的に10:0とするような構成であっても良いことは言うまでもない。またこの実施例では、フレーム間内挿回路421は現信号と画像メモリ29を介して得た1フレーム遅延信号とでフレーム間内挿処理を行ったが、図11に示した従来例におけるセクタ回路109、画像メモリ107、108からなる巡回構成のフレーム間内挿回路であっても良いことは言うまでもない。

【0051】さらにこの実施例ではMUSE信号処理ブロックとNTSC信号処理ブロックでメモリを共有する例を示したが、2つ以上のいかなる放送方式に対応した信号処理回路ブロック間でメモリを共有しても良いことは言うまでもない。さらにこの実施例ではメモリ共有の組み合わせとしてMUSEのフレーム間内挿回路421とNTSCのフレーム間YC分離回路611、MUSEのフィールド間内挿回路422と時空間フィルタ48、NTSCのフィールド間補間回路671の間でそれぞれメモリを共有したが、この組み合わせに限定されるものではないことも言うまでもない。

【0052】図7は第3の発明の第1の実施例におけるテレビジョン受像機のブロック図を示すものである。図7において、1~20は図1に示した第1の発明の実施例と同様である。81、82、83はそれぞれ第1、第2、第3の信号処理回路ブロックへ信号処理回路を駆動

するためのクロックを入力する入力端子。84、85、86はそれぞれ第1、第2、第3の信号処理回路ブロックへ供給するクロック信号を選択信号S1にしたがって通過させるか“L”レベルに固定するかを切り換えるAND回路である。

【0053】以上のように構成されたこの実施例のテレビジョン受像機において、以下その動作を説明する。動作の説明は復号すべきテレビジョン信号が第1の放送方式の場合、第2の放送方式の場合、第3の放送方式の場合に分けて行う。

【0054】まず第1の放送方式のテレビジョン信号を処理する場合、入力端子4に加えられた選択信号S1は出力端子11のみを通過状態にし、出力端子12、13を高インピーダンス状態にすることにより等価的に出力端子11の信号線のみをメモリブロック14に接続した状態にする。

【0055】さらにS1はAND回路84、85、86に入力する信号のうち84に入力する信号のみ“H”レベルにし、85、86に入力する信号を“L”レベルにすることによって、入力端子81、82、83に入力されたクロック信号のうち、81のクロック信号のみを第1の信号処理回路ブロック内に供給し、82、83のクロック信号はそれぞれ第2、第3の信号処理回路ブロック内には供給しない。入力端子1に加えられた第1の放送方式のテレビジョン信号は、A/D変換器5においてデジタル信号に変換され、変換されたデジタルテレビジョン信号は第1の信号処理回路ブロック8において復号され、D/A変換器15によって再びアナログ信号に変換され、出力端子18より第1の映像信号を得る。

【0056】第2の放送方式のテレビジョン信号を処理する場合、入力端子4に加えられた選択信号S1は出力端子12のみを通過状態にし、出力端子11、13を高インピーダンス状態にすることにより等価的に出力端子12の信号線のみをメモリブロック14に接続した状態にする。

【0057】さらにS1はAND回路84、85、86に入力する信号のうち85に入力する信号のみ“H”レベルにし、84、86に入力する信号を“L”レベルにすることによって、入力端子81、82、83に入力されたクロック信号のうち、82のクロック信号のみを第2の信号処理回路ブロック内に供給し、81、83のクロック信号はそれぞれ第1、第3の信号処理回路ブロック内には供給しない。入力端子2に加えられた第2の放送方式のテレビジョン信号は、A/D変換器6においてデジタル信号に変換され、変換されたデジタルテレビジョン信号は第2の信号処理回路ブロック9において復号され、D/A変換器16によって再びアナログ信号に変換され、出力端子19より第2の映像信号を得る。

【0058】第3の放送方式のテレビジョン信号を処理する場合、入力端子4に加えられた選択信号S1は出力

端子13のみを通過状態にし、出力端子11, 12を高インピーダンス状態にすることにより等価的に出力端子13の信号線のみをメモリブロック14に接続した状態にする。

【0059】さらにS1はAND回路84, 85, 86に inputsする信号のうち86に inputsする信号のみ“H”レベルにし、84, 85に inputsする信号を“L”レベルにすることによって、入力端子81, 82, 83に inputsされたクロック信号のうち、83のクロック信号のみを第3の信号処理回路ブロック内に供給し、81, 82のクロック信号はそれぞれ第1, 第2の信号処理回路ブロック内には供給しない。入力端子3に加えられた第3の放送方式のテレビジョン信号は、A/D変換器7においてデジタル信号に変換され、変換されたデジタルテレビジョン信号は信号は第3の信号処理回路ブロック10において復号され、D/A変換器17によって再びアナログ信号に変換され、出力端子20より第3の映像信号を得る。

【0060】以上のようにこの実施例によれば、複数の放送方式に対応したそれぞれの信号処理回路ブロックからメモリブロックへ信号を供給する出力端子にトライステート機能を設け、各出力端子のトライステート状態を制御することでメモリブロックへの入力信号を切り換えることにより画像メモリの共用が可能となるとともに、選択信号S1によって選択されずにメモリブロックから切り離されている信号処理回路ブロックのクロック信号の供給を止めることによって、信号処理がなされないブロックの消費電力を削減し、不要な電力消費を抑制することができる。

【0061】なおこの実施例では3つの信号処理回路ブロックでメモリブロックを共有する例を示したが、信号処理回路ブロックの数は2つ以上のいかなる数でも良いことは言うまでもない。また、この実施例ではメモリブロックへの入出力信号を各信号処理回路ブロックで一つずつである例を示したが、入出力信号の数は1つ以上のいかなる数でも良いことも言うまでもない。さらにこの実施例では各信号処理回路ブロックへのクロック信号の供給を止めるためにAND回路を用いたが、通常のON/OFFスイッチなどクロック信号の供給を制御するものであればどのようなものでもよい。

【0062】図8は第3の発明の第2の実施例におけるテレビジョン受像機のブロック図を示すものである。図8において、14, 21~37は図2に示した第2の発明の実施例と同様である。38はMUSE信号処理ブロック26を駆動するためのクロック信号CKMを入力する入力端子、39はNTSC信号処理ブロック27を駆動するためのクロック信号CKNを入力する入力端子である。

【0063】図9はMUSE信号処理ブロック26の構成例を示すブロック図である。図9において、41~5

4は図3に示した第2の発明の実施例と同様である。55, 56はAND回路である。

【0064】図10はNTSC信号処理ブロック27の構成例を示すブロック図である。図10において、61~74は図4に示した第2の発明の実施例と同様である。75はAND回路である。

【0065】以上のように構成されたこの実施例のテレビジョン受像機において、以下その動作を説明する。基本動作は第2の発明の実施例と同様であるので、ここでは本実施例の特有の動作についてのみ説明する。クロック信号入力端子38にはMUSE信号処理ブロックを駆動するためのクロック信号CKMが inputsされ、クロック信号入力端子39にはNTSC信号処理ブロックを駆動するためのクロック信号CKNが inputsされる。

【0066】以下の動作の説明は主に復号すべき信号がMUSE信号の場合とNTSC信号の場合とに分けて行う。

【0067】まずMUSE信号を主に復号する場合、入力端子23に加えられる選択信号M/NはMUSEを選択する値となりMUSE信号処理ブロック26とNTSC信号処理ブロック27とに inputsされる。MUSE信号処理ブロック26では選択信号M/NがMUSEを選択している場合AND回路55の出力CK1は入力クロック信号CKMと同じになる。一方AND回路56の出力CK2は“L”レベル固定となり、クロック信号が停止した状態となる。フレーム間挿回路421, フィールド間挿回路422, 動き検出回路43, 混合回路44には駆動クロック信号としてCK1が供給されており、時空間フィルタ回路48にはCK2が供給されている。その他の処理回路については選択信号M/Nによらない適当なクロックが供給されていることは言うまでもない。

【0068】したがって選択信号M/NがMUSEを選択している場合、時空間フィルタ回路48にはクロックが供給されないことになり動作しない。第2の発明の実施例より、セレクト49はS4を選択している状態なので、全体の信号処理経路には影響がない。したがってこの場合時空間フィルタ回路48が消費する電力を削減できる。NTSC処理ブロック27では選択信号M/NがMUSEを選択している場合AND回路75の出力CK3は“L”レベル固定となり、クロック信号が停止した状態となる。フレーム間YC分離回路611, 動き検出回路63, 混合回路64, フィールド間補間回路671, 混合回路70には駆動クロック信号としてCK3が供給されている。

【0069】その他の処理回路については選択信号M/Nによらない適当なクロックが供給されていることは言うまでもない。したがって選択信号M/NがMUSEを選択している場合、フレーム間YC分離回路611, 動き検出回路63, 混合回路64, フィールド間補間回路

671, 混合回路70にはクロックが供給されないことになり動作しない。第2の発明の実施例より、セクタ65はS7を、セクタ71はS9をそれぞれ選択している状態なので、全体の信号処理経路には影響がない。したがってこの場合フレーム間YC分離回路611, 動き検出回路63, 混合回路64, フィールド間補間回路671, 混合回路70が消費する電力を削減できる。

【0070】次にNTSC信号を主に復号する場合、入力端子23に加えられる選択信号M/NはNTSCを選択する値となりMUSE信号処理ブロック26とNTSC信号処理ブロック27とに入力される。MUSE信号処理ブロック26では選択信号M/NがNTSCを選択している場合、AND回路55の出力CK1は“L”レベル固定となり、クロック信号が停止した状態となる。一方AND回路56の出力CK2は入力クロック信号CKMと同じになる。この場合、フレーム間内挿回路421, フィールド間内挿回路422, 動き検出回路43, 混合回路44にはクロックが供給されないことになり動作しない。

【0071】第2の発明の実施例より、セクタ45はS2を選択している状態なので、全体の信号処理経路には影響がない。したがってこの場合フレーム間内挿回路421, フィールド間内挿回路422, 動き検出回路43, 混合回路44が消費する電力を削減できる。NTSC処理ブロック27では選択信号M/NがNTSCを選択している場合AND回路75の出力CK3は入力クロック信号CKNと同じになる。この場合NTSC信号処理ブロック内の全ての信号処理回路が動作する。

【0072】以上のようにこの実施例によれば、選択信号にしたがって画像メモリの利用が制限される信号処理回路ブロックにおいて、信号処理の経路をメモリが利用できなくなった時空間処理を経過しない経路に切り換えるととことによって、画像メモリを主に利用する信号処理回路ブロックと画像メモリの利用が制限される信号処理回路ブロックの両方の映像を楽しむことができるとともに、経路が切り変わったことにより信号処理の経路上、出力信号に影響を及ぼさない信号処理回路のクロックの供給を止めることによって不要な電力消費を抑制することができる。

【0073】なおこの実施例では時空間信号処理回路が選択信号にしたがって画像メモリの利用を制限される場合には、セクタ45, 65, 70を用いて信号処理の経路を強制的に空間処理のみを通過する経路に切り換えていたが、混合回路44, 64, 70において空間信号処理の出力と時空間信号処理の出力の混合比を強制的に10:0とするような構成であっても良いことは言うまでもない。またこの実施例では、フレーム間内挿回路421は現信号と画像メモリ29を介して得た1フレーム遅延信号とでフレーム間内挿処理を行ったが、図11に示した従来例におけるセクタ回路109, 画像メモリ

107, 108からなる巡回構成のフレーム間内挿回路であっても良いことは言うまでもない。

【0074】さらにこの実施例ではMUSE信号処理ブロックとNTSC信号処理ブロックでメモリを共有する例を示したが、2つ以上のいかなる放送方式に対応した信号処理回路ブロック間でメモリを共有しても良いことは言うまでもない。さらにこの実施例ではメモリ共有の組み合わせとしてMUSEのフレーム間内挿回路421とNTSCのフレーム間YC分離回路611, MUSEのフィールド間内挿回路422と時空間フィルタ48, NTSCのフィールド間補間回路671の間でそれぞれメモリを共有したが、この組み合わせに限定されるものではないことも言うまでもない。さらにこの実施例では各信号処理回路ブロックへのクロック信号の供給を止めるためにAND回路を用いたが、通常のON/OFFスイッチなどクロック信号の供給を制御するものであればどのようなものでもよい。

【0075】

【発明の効果】以上説明したように、第1の発明によれば、メモリの入力に共通に接続されている複数の信号処理回路のそれぞれ出力端子にトライステート機能をもたせ、メモリへ入力する信号を択一的に選択することによって、セクタなどのハードウェアを特に増設することなく多数の信号処理回路ブロックからのメモリの共有や、信号処理回路ブロック内の各処理ごとの様々なメモリ共有の組み合わせにも柔軟に対応することができ、その実用的効果は大きい。

【0076】第2の発明によれば、第1の発明の効果に加えて、メモリ共用化状態においても各信号処理回路がそれぞれの映像信号処理を行うことで、同時に複数の映像を見ることができ、その実用的効果は大きい。

【0077】第3の発明によれば、第2の発明の効果に加えて、不要な電力消費を抑制することができ、その実用的効果は大きい。

【図面の簡単な説明】

【図1】第1発明の実施例におけるテレビジョン受像機のブロック図

【図2】第2発明の実施例におけるテレビジョン受像機のブロック図

【図3】同実施例のMUSE信号処理ブロックの構成例を示すブロック図

【図4】同実施例のNTSC信号処理ブロックの構成例を示すブロック図

【図5】同実施例の画面合成回路の動作を説明するための第1の画面図

【図6】同実施例の画面合成回路の動作を説明するための第2の画面図

【図7】第3の発明の第1の実施例におけるテレビジョン受像機のブロック図

【図8】第3の発明の第2の実施例におけるテレビジョン

17

ン受像機のブロック図

【図 9】同実施例の MUSE 信号処理ブロックの構成例を示すブロック図

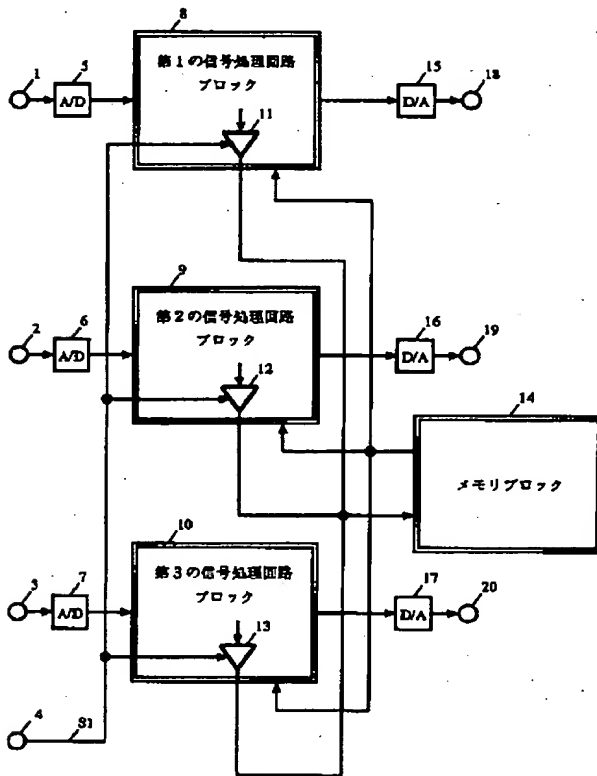
【図 10】同実施例の NTSC 信号処理ブロックの構成例を示すブロック図

【図 11】従来のテレビジョン受像機のブロック図

【符号の説明】

1, 2, 3, 4, 21, 22, 23, 38, 39, 8
1, 82, 83, 101, 102, 103 信号の入力端子
5, 6, 7, 24, 25 A/D変換器
8, 9, 10 信号処理回路ブロック
11, 12, 13, 51, 52, 53, 73, 74 トライステート出力端子
14 メモリブロック
15, 16, 17, 34, 35, 117, 118, 119, 120, 121, 122 D/A変換器
18, 19, 20, 36 信号の出力端子
26, 115 MUSE信号処理ブロック
27, 116 NTSC信号処理ブロック
29, 30, 31, 32, 107, 108 画像メモリ
33 画面合成回路

【図 1】



18

37, 123, 124 モニタ

41 動画処理回路

42 静止画処理回路

43, 63 動き検出回路

44, 64, 70 混合回路

45, 49, 65, 71, 106, 109, 112 セレクタ回路

46, 50, 72 復号回路

47 走査線数変換回路

10 48 時空間フィルタ回路

61 静止画用 YC 分離回路

62 動画用 YC 分離回路

66 減算器

67 静止画用走査線補間回路

68 動画用走査線補間回路

69 色信号補間回路

55, 56, 75, 84, 84, 86 AND回路

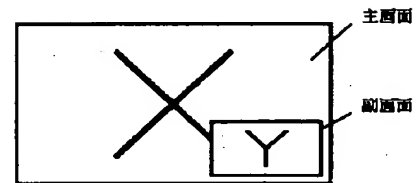
110 MUSE用タイミング発生回路

111 NTSC用タイミング発生回路

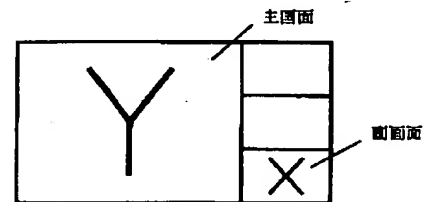
20 113 アドレス発生器

114 分離回路

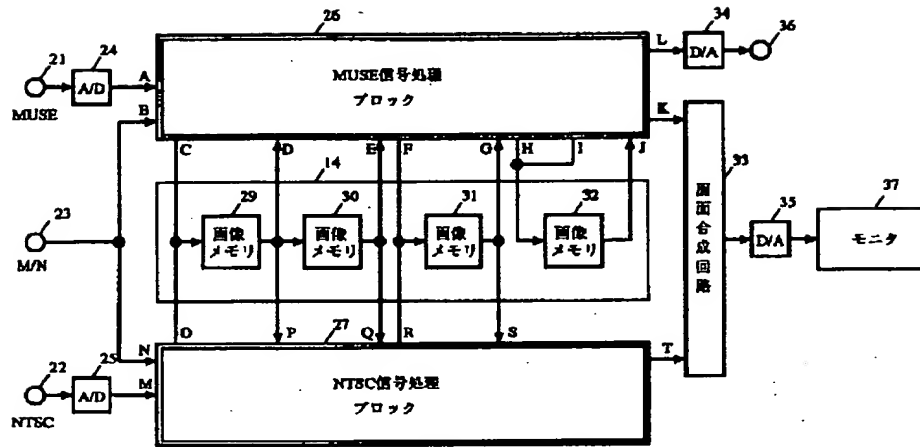
【図 5】



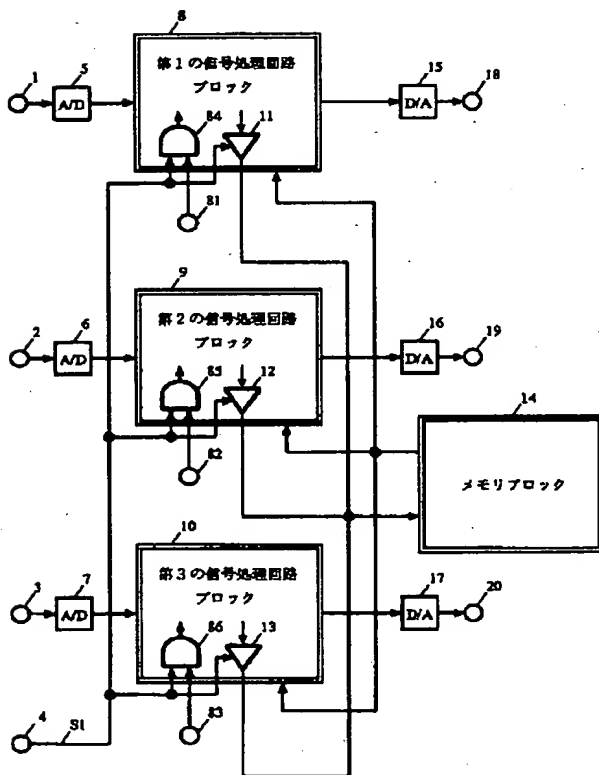
【図 6】



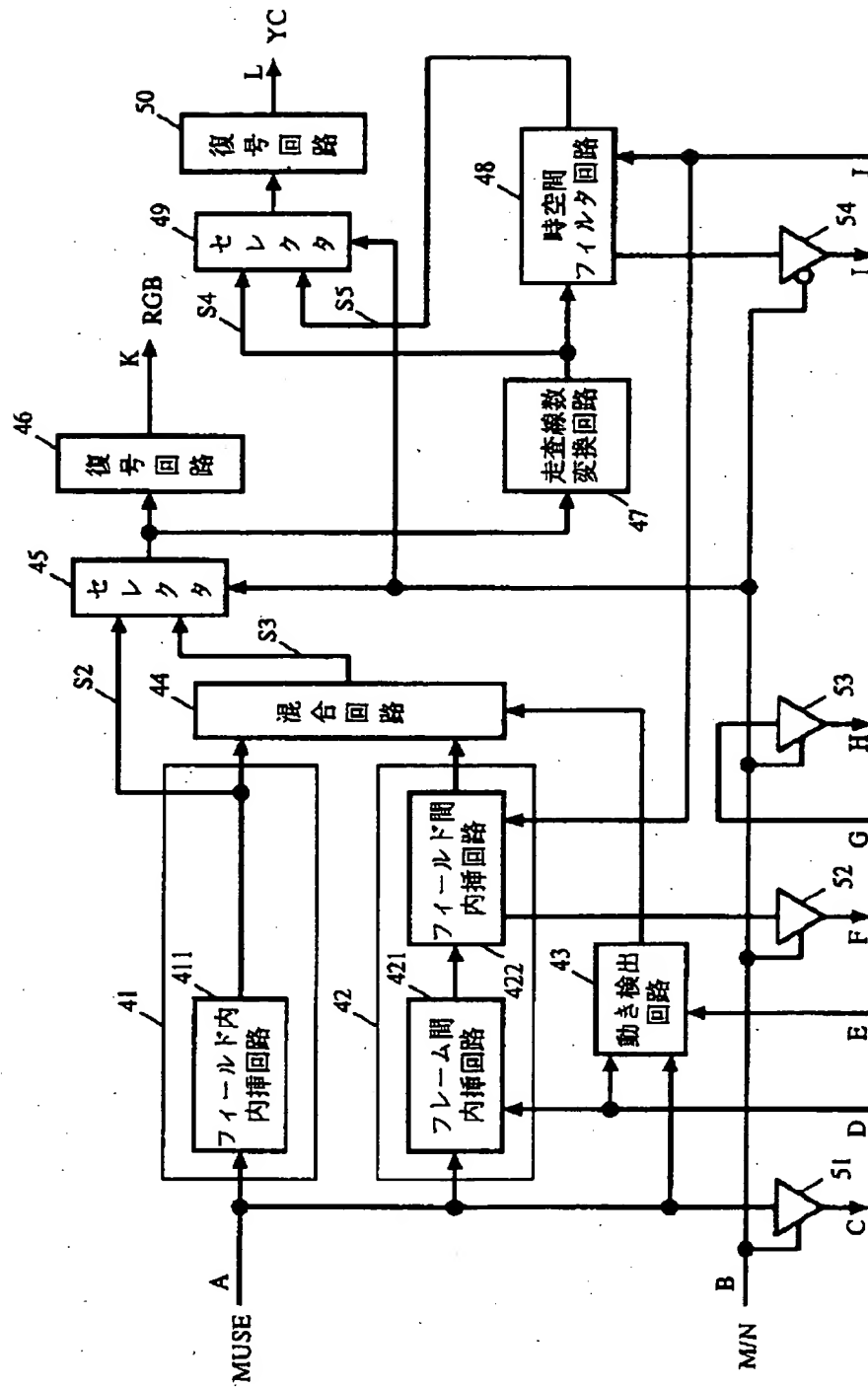
【図 2】



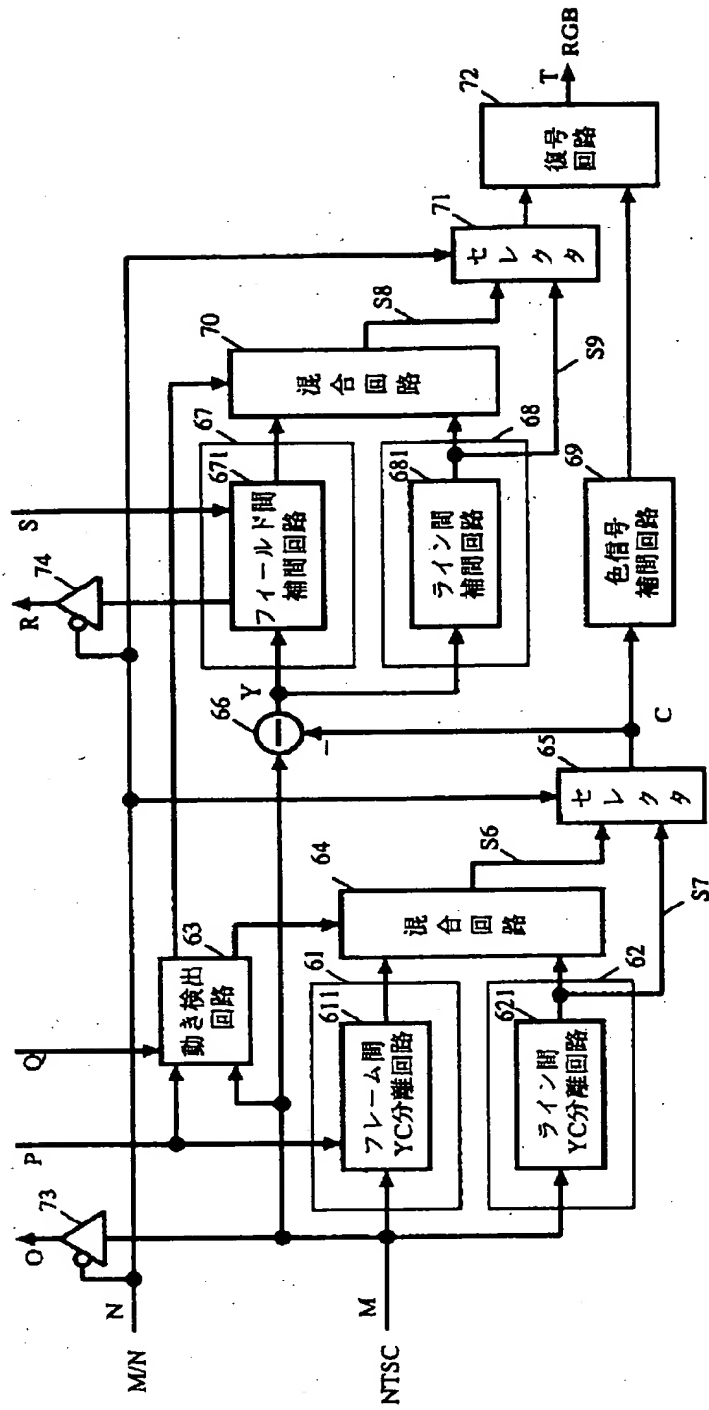
【図 7】



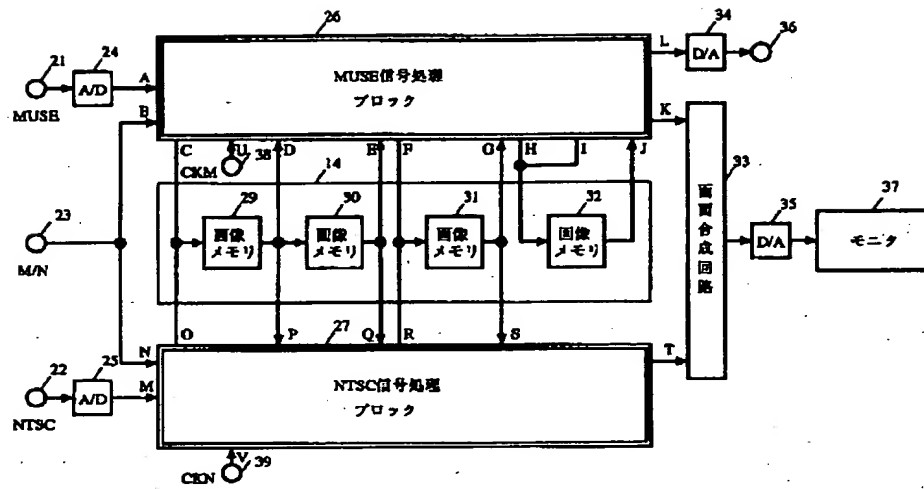
【図 3】



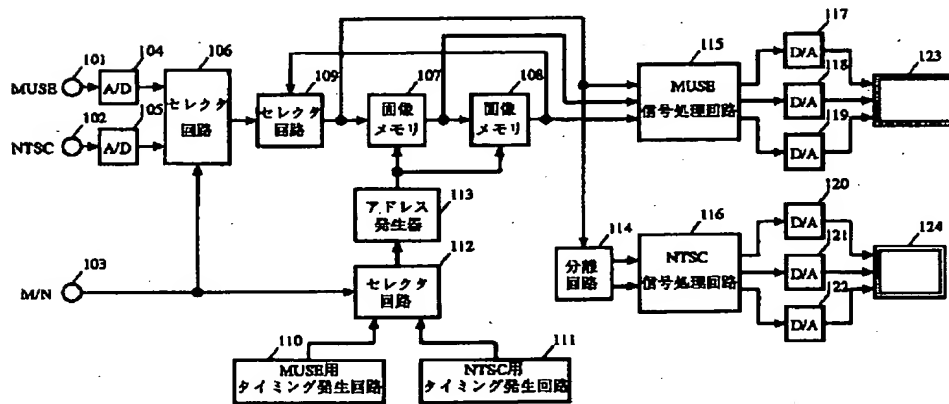
【図 4】



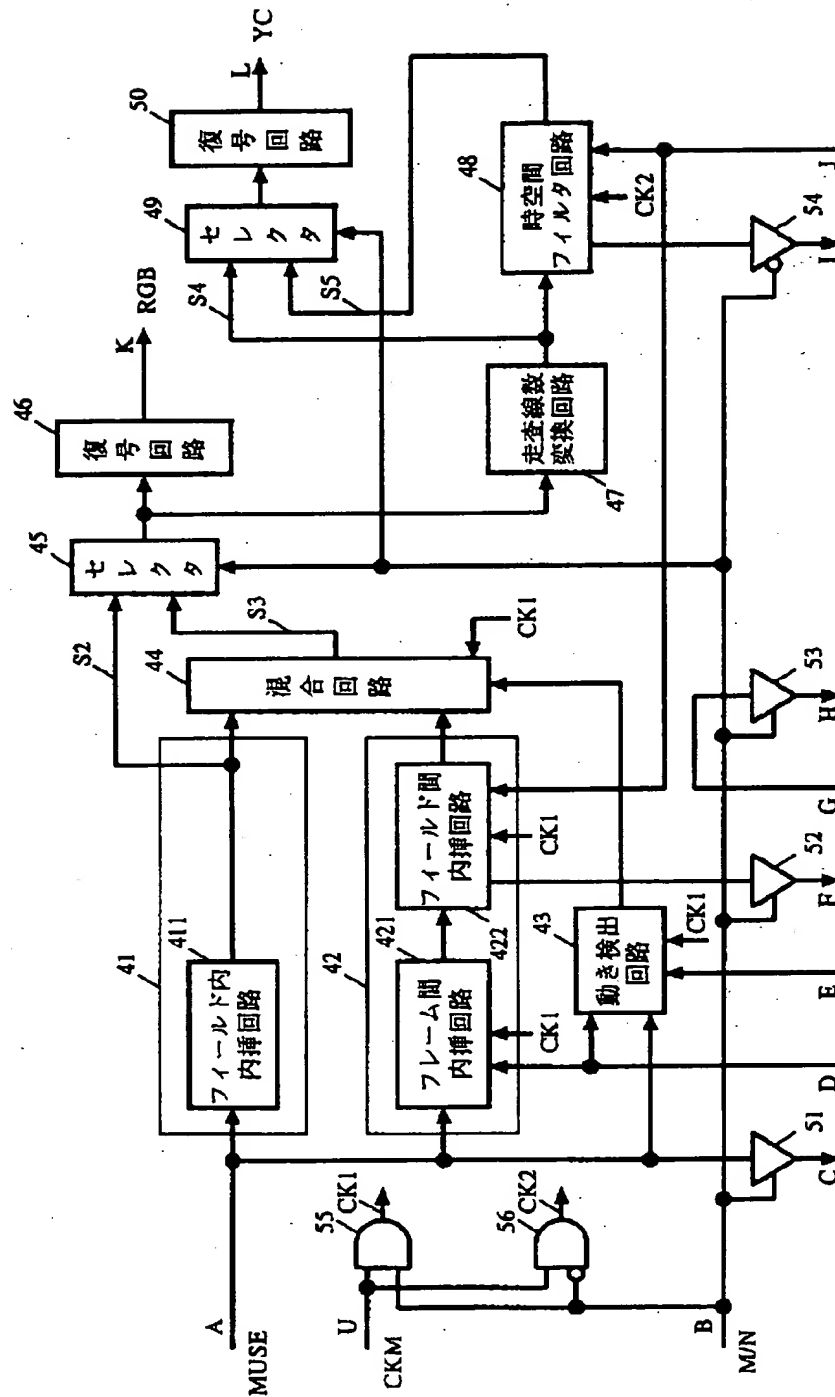
【図 8】



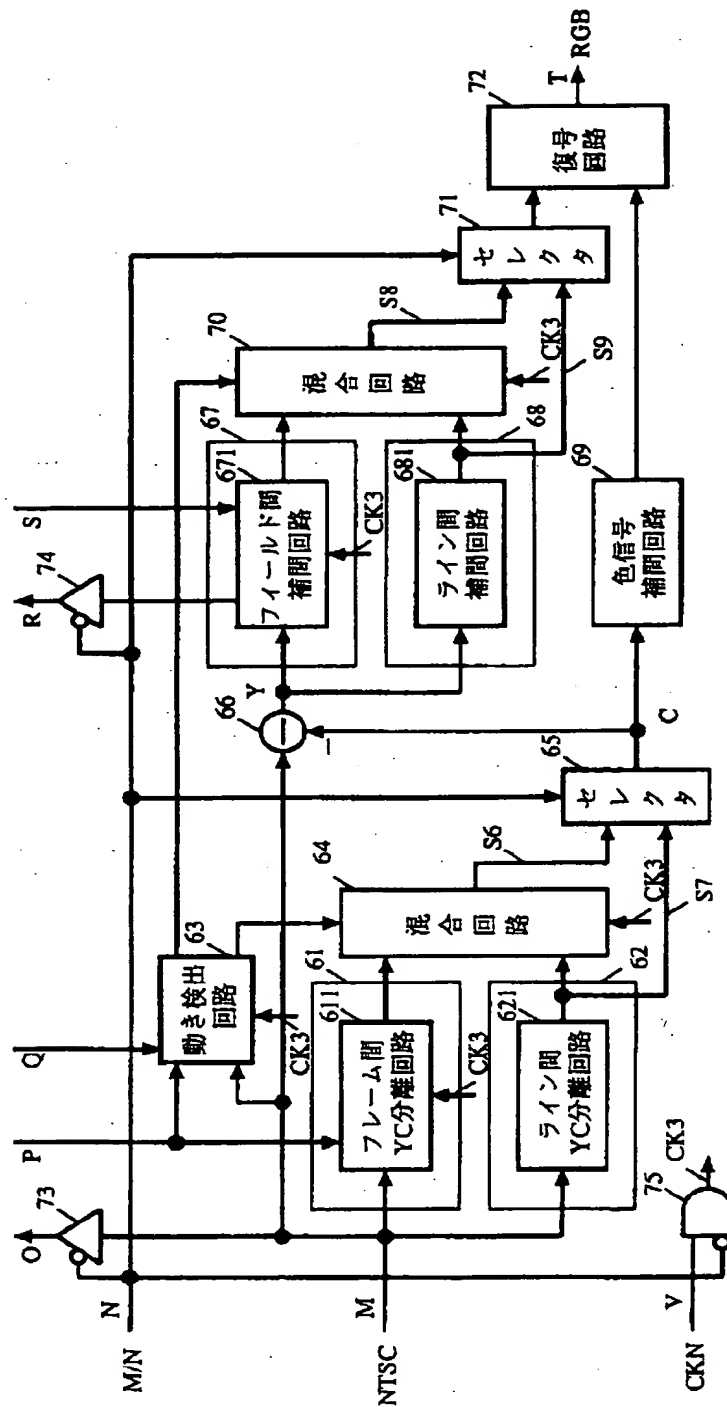
【図 11】



【図 9】



【図 10】



フロントページの続き

(72)発明者 石津 厚

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER: _____**

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.